※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現②	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	国語表現　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	国語表現　【改訂版】　基礎練習ノート（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てよう。面接での応答の仕方、会議の場での建設的な話し合いの進め方、効果的なプレゼンテーションの方法を実演しながら学び、詩歌、小説、意見文を創作して、自分の作品をデコレーションして展示することで、お互いの作品を評価し合い、楽しみながら学びあう場所である。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	作品の推敲が重ねられ、完成度の高い作品が出来上がるまで、調査し、思考を練り直した跡が見られる。	場面にふさわしい言葉遣いを考える。質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。建設的な質問の仕方を理解する。	わかりやすい文、整った文を書くために大切なことを理解する。接続表現に工夫して構成を作り文章を書く。		発想法、意見のまとめ方、情報の選択、説明の順序、比ゆ表現の方法、敬語・俳句の基本的な約束事の知識を理解する。原稿用紙の使い方、推敲の観点を理解する。
評価方法	作品	ワークシート 小テスト 実演	ワークシート 作品		ワークシート 作品 小テスト 定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
１０月	１ 書いて伝える	４ 絵や写真を見て書く	○		○		○	a: 何度も推敲しながら作品を完成させた。 c: 図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解し、相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。 e:大切な情報、説明の順序、比ゆを用いた説明についての工夫を知識として得る。	a･c･e:作品 a･c･e:ワークシート
１０月	１ 書いて伝える	実践トレーニング(1)	○				○	a:ワークシートの間違いを訂正できる。 e: 単元１の学習内容を確認し、知識を定着させる。原稿用紙（縦書き・横書き）の使い方を確認する。	a･e:ワークシート
１０月	６ 会話・議論・発表	２ 建設的な議論の進め方	○	○			○	a:積極的に話し合いに参加している。 b:司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 e:話し合いのステップについての知識を得る。発想法・ブレーンストーミングの方法を得、結論を出すための話し合いの技術を得る。	a･b･e:実演
１１月	６ 会話・議論・発表	３ プレゼンテーションの工夫	○	○			○	a:プレゼンテーションを実演できる。 b: 視覚的にわかりやすい図式を用いたポスターを作成し、そうした視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。 e:テーマと目的と調査方法、そしてプレゼンテーションの方法に様々な方法があることを理解する。	a･e:実演 b:ポスター

※令和３年度以前入学生用

11月	（第二部）	9 パロディー物語を書こう（小説を書く）	○		○		○	a:何度も推敲を重ねながら、小説を完成させた。 ｃ：構成や展開の面白さに留意しながら、小説を創作する。 e:外的焦点化・内的焦点化についての知識を得て、区別ができる。	a・c:作品 e:小テスト
11月(1月)	2 小論文・レポート入門	3 文章を読み取って書く	○		○		○	a:何度も推敲を重ねながら、小論文を完成させた。 ｃ：文章の要旨をつかむための方法を理解し、資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 e: 段落相互の論理のつながり、問答法とキーワードなどの、要点をまとめる方法を知る。	a・c・e:作品 a・d・e:ワークシート
12月	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける	○		○		○	a:何度も推敲を重ねながら、手紙文（感謝の手紙、年賀状）を完成させた。 ｃ：年賀状や感謝の手紙を手紙特有の表現に留意しながら、構成方法を守りつつ書く。 e: 手紙特有の表現方法と構成方法を知る。	a・c・e:作品 a・c・e:ワークシート
1月	（第二部）	2 詩歌を楽しむ	○		○		○	a:何度も推敲を重ねながら、新年の俳句を完成させた。 ｃ：四季のほかの「新年」の季語についての知識と「切れ字」の決まりごとを守りながら、創作する。 e: 「新年」の季語とその本意について知る。切れ字の基本的な使用方法について知る。	a・c・e:作品 a・c・e:ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。